

ライオンズクラブ国際協会331-C地区会報

THE LIONS

ECHO

エコー



LIONS CLUBS
INTERNATIONAL
DISTRICT 331-C
2014-2015

Vol.4
2015



2014～2015年度国際テーマ

ハイライト：誇りを高める



331-C地区 ガバナーズローガン 2014～2015

《今こそ「原点回帰」。心を一つに動いてみませんか!》 **To one heart!**



《2015年在函クラブ合同新年交礼会開催》

■日時 2015年1月9日(金)午後12時30分～1時30分

■場所 函館バルクラシック

在函11クラブから約130名のメンバーが参加し、当番クラブである函館元町クラブL佐藤会長の開会宣言で新年会の幕開けをスタートしました。

まず、来賓である工藤市長の念頭あいさつに続いて、C地区ガバナーのL松浦則雄より「ライオンズファミリーと一緒に新しい幕開けを迎える事は、何事にも代えがたい至福の愛です。ライオンと同じ群れ仲間であり、おめでとう善良な未年にあやかって、幸せをGETしましょう」と力強いあいさつがありました。

このあと工藤市長とL松浦ガバナーに加えて、奥山名誉顧問はじめキャビネット役員総出で、「ライオンズメンバーの繁栄と健康」を祈願して、恒例の鏡割りを執り行いました。



2014～2015ライオンズクエスト ワークショップ開催

■日時 2015年1月17日(土)9:00～17:00(1日目)

2015年1月18日(日)9:00～17:00(2日目)

■場所 函館市地域交流まちづくりセンター

■講師 ライオンズクエスト認定講師 中村千恵子氏
(JIYD)



ワークショップ1日目

▶最初に講師よりライオンズクエストプログラム(LQP)の歴史と背景を説明された。

リックリトル(アメリカ)が19歳の時、数々の試練に遭遇。青少年が困難に遭っても『立ち直る力』をつけさせたいと考えた。1975年クエスト財団を創設。

・1984年ライオンズクラブ国際協会が支援→ライオンズクエストプログラム(由来)

・2002年ライオンズクラブ国際財団が著作権を取得(現在85カ国近く、1,300万人以上の青少年に)

日本…各地域のライオンズクラブと青少年育成支援フォーラム(通称JIYD)との協働により、プログラムの普及活動を。

・2013年…小学生版完成、普及活動開始。

▶次に参加者の自己紹介。参加の動機は、校長の推薦他、以前にライオンズクエストセミナーに参加した同僚が賛同、それを聞いて参加等との紹介がありました。

ライオンズクラブの活動が少しずつ地域に理解されていると感じた。

▶続いてプログラムの柱は①ライフスキル教育②道徳教育③問題行動の防止④サービラーニング。

・ライフスキルとは、(WHOの定義)日常生活で生じる様々な問題や要求に対して建設的かつ効果的に対処するために必要な心理社会能力である。

・ライフスキルとは、(本プログラム)生まれながらに備わっているものでなく、発達段階・理解度に合わせて1つ1つ学び、繰り返し練習して使えるようになるもの。

学んで、使って、身につけるLions-Questプログラム。成長に合わせて、1つ1つ繰り返して。

・ライフスキルの効果

☆自尊心・社会的スキルの向上。☆引っ込み思案・攻撃的行動の減小。☆喫煙率・薬物乱用経験者・飲酒経験者の減小。

・サービラーニング(社会参画体験学習)生徒自らが企画し、実行する主体的活動のこと。

教室の領域で学習した内容(ライフスキルで自信、学習意欲、学習の定義、社会参画への意欲)⇔他者への貢献・社会参加。

・ワークショップの主題

子供達がしっかりとした人格をもち、もてる力を充分発揮でき健康な大人に成長するために学校を核として、教師・保護者・地域の人々ができる支援策は何か。

・ワークショップの目的

子供達の成長に、私達大人にできる支援方法を検討。プログラムが提唱する青少年の望ましい成長と問題行動防止のための要点を理解する。教材を理解した上で、実際にプログラムを体験する。

学級・学校、地域で、プログラムをどのように活用していくことができるか探求する。

▶参加者は各グループ毎に数回に別れ課題に沿って実践討議、模擬授業体験をしました。

▶1日目の内容と総括

①ライフスキルについて②学級作り・仲間作り③ルール作り④ポスター作り⑤教材検討(ジグゾーパズル)⑥模擬授業



ライオンズクエストワークショップ開催

・活発な意見と思いが語られていました。また生徒の気持ちになって体験行動をし、流石プロの教育関係者と思えました。中村先生は意見感想等が出るまでじっと待つ、その間合いと感想に対する応えが的確で感銘をうけました。



ワークショップ2日目

▶最初に松浦地区ガバナーよりワークショップが目的ではなく、このプログラムを学校で取り入れ実践することが大事と挨拶。

▶次に講師より前日の復習から始まりました。

・プログラム構成の中で、同プログラムの最終目標は☆お互いを尊重し、高い期待感を抱き、意味のある学習集団作り。☆健康で生産的な生活のために必要なライフスキル学習の指導。☆薬物（喫煙・飲酒を含む）を使わない、安全で健康な生活の促進。☆市民の1人として、他者との協調や助け合いを促進。☆家族・よき友人・学校・地域とのつながりの強化。

・L-Qプログラムの特徴は「長所を伸ばす」ことを念頭においた方法論→青少年は能力や才能を持っている。それを思いやりのある大人、互いを思いやる学習環境の中で育てられていく。

同プログラムの効果は①前向き・建設的な行動を促進②危険行動を防止（予防）

・模擬授業では全員が先生役と生徒役となり、小学生版2本、思春期版2本の計4本を体験。小学3年生の気持ちになっての授業もありました。

・終了にあたり参加者が背中に賞賛の手形をつけ、それぞれ仲間5人に褒め言葉を具体的に書いて頂い

ていた。これは修業式等に使える。保護者会で掲示してはと感想を述べられていました。

▶2日目の内容と総括

①前日の復習②プログラム構成③ストップ!危険行動④模擬授業4本⑤賞賛の手形・まとめ。

・全員が常に笑顔でジョークを交えながら熱気あふれた中にも真摯に取り組んでいる姿に感動しました。

▶参加された先生方にどのように本プログラムを取り入れるかの質問に対し、研修授業・道徳の授業に、また学校外の集まりの中で情報を共有してから授業にと前向きな発言がほとんどであった。

▶最後に中村先生と参加者全員が円陣を組み、この国際協会331-C地区より本プログラムを取り入れる第一歩とし右足を前に出し唱和、全員が誓いお互い2日間の労をたたえ合った。

▶松浦地区ガバナーからは更に一步を踏み出すと本プログラムは歩き出す（実行）と締め括った。

▶2日間参加した先生方、ライオンの方に心から御礼を申し上げます。また中村千恵子先生ありがとうございました。準備等にご尽力したライオンズクエスト委員会の皆様大変お疲れ様でした。（了）



ライオンズクラブ国際平和 ポスターコンテスト全国大会 への出品!

331複合選考会において函館北斗ライオンズクラブ選出の作品が北海道代表として、日本レベルの選考会へ送られた。

(函館市立桔梗小学校 6年 鳴海 清花)



《C地区3R・5R 会長会議開催》

日時 2015年1月24日(土)
場所 苫小牧ホテルニュー王子
参加者 第3R・第5R会長及び当該RCとZC
講師 331複合GMTコーディネーター
L井ノ浦義明
331-C地区GLTコーディネーター
L藤井幹久

「会員増強」について地区クラブ会長の理解を深めるために3回に分けてリジョン別の会長を対象に開催しました。

第1回目の当会議は欠席者1名という高参加率で、井の浦Lと藤井Lの講演を大変熱心に耳を傾けてもらいました。

続いて「家族会員」のメリットとデメリットをテーマに「Tチャート」を実施、各グループリーダーの発表で「メリットを生かしてできるだけ加入促進を図る」事で会議を締めくくりました。





《東奔西走記》其の7



ガバナー L松浦 則雄

今年もお正月恒例の大学駅伝に一喜一憂した。優勝候補本命の東洋大学と駒澤大学が首位争いかと思いきや、終わってみれば青山学院大学が逆

転優勝。翌日の復路も青山学院大学独走で、創部以来97年ぶりに初めて総合優勝しました。「人間万事塞翁が馬」本命の選手のアクシデントで、色々なメイクドラマがありました。正月4が日、我がファミリー一族郎党と、朝な夕なに「飲んだり、飲んだり」。年末年始7日間のビッグバン連休はあっという間に「ファイナルアンサー」。夢から覚めた仕事モードの5日に、キャビネット事務局仕事始め。CAB三役と事務局員と「あけおめ」念頭あいさつ。

ガバナーの初仕事は1月9日、函館地区10クラブの合同新年交礼会の新年メッセージです。昨年12月初め、在函以外の各クラブあてに発信するためにビデオ撮影した、「ガバナー新年あいさつ」原稿に基づいて、メンバーとともに迎えた新春の喜びを分かち合う心情を、心を込めて吐露しました。

気がつけば「メーデー鳴いて」未(羊)年がスタートするや否や、あっという間に6月のガバナーの賞味期限が残すところ、4か月余りとなりました。

函館キャビネット地区委員会終盤の事業として、1月17日と18日の2日間にわたり、函館地区の小中高教諭など16名参加の元「ライオンズクエストワークショップ」を開催して、「思春期のライフスキルアップ」研修。2月21日に第2回ライオンズアカデミーを、次期ガバナー予定のお藤元小樽で開催しました。

また山田次期国際会長の方針でもある、C地区52クラブの会長会議を、1月24日(苫小牧)と2月14日(函館)、21日(小樽)の3回に分けて開催。複合と地区GMT・

GLTコーディネーターによる、会員維持増強に対するオリエンテーションを実施して、今期キャビネット年度末まで残り期間中の、「アスク・ワン(一人を誘う)」及び「キープ・ワン(一人を維持)」運動で、会員維持増加の必要性をお願いしました。

昨年ガバナー就任してから前半戦の半年間、駆け足でオフィシャル行事をこなしてきました。おかげさまで、会員増強とLCIF献金は順調に推移しており、さらにガバナーズローガンの重点項目である「献血とタオルボランティア」アクティビティに対して、各クラブとも精力的に活動している姿を目の当たりにして、ただただ心底、頭が下がる思いです。

私は公式訪問でガバナーズローガンを引っ提げて、所信表明を披露しましたが、私ひとりの力では何もできません。会長を筆頭に日々クラブ単位で種々雑多のアクションを起こす事によって、結果の善し悪しが決まります。このような素晴らしい出来事は、『今こそ原点回帰。心を一つに動いてみましょう!』の願いが、地区クラブメンバーの心に通じたものと、あらためて感謝の念に堪えません。

公式訪問終了後お礼を兼ねて、函館近郊クラブの例会訪問をしました。クリスマス例会等で師走の忙しい中、突撃訪問を受け入れてくれて、「今までガバナーのクラブ訪問例がない」と多少奇異の眼差しで見られたものの、どこのクラブでも好意的に私の話を傾聴。その光景を見て「勇気百倍」のパワーをもらい、新年を迎えた折り返しからゴールに向けて、粉骨砕身行動する気構えができました。

ガバナーは1年間の期間限定です。長いようで短い任期中にやりたい事を、できるだけ100%近く完遂するためには、メンバーの協力は不可欠です。

「終わり良ければ全て良し」の集大成を標榜して、ガバナーの賞味期限ぎりぎりまで働く所存ですので、ライオン同志の皆様には、今まで通りのご支援を期待して止みません。



《昨年11月に厚真町から 「社会貢献賞」を受賞!》

◎厚真ライオンズクラブ会長スローガン
「奉仕の輪 継承できる 次世代に」



第5R第2Z

厚真ライオンズクラブ
幹事 吉岡 茂樹

厚真ライオンズクラブは、苫小牧ライオンズクラブのスポンサーにより1974年4月21日に結成され、同年9月22日、全国で1830番目、北海道で145番目に36名のチャーターメンバーにより、誕生致しました。

厚真町は、小さいながらも「いのち満ちる

農の里あつま 大いなる田園の町」を基本に、広大な森林と美田が広がる胆振地域でも有数の穀倉地帯であります。

自然があふれる厚真町で我がライオンズクラブは、認証40周年記念事業を2014年9月に行う事が出来ました。

この間、歴代地区ガバナー、キャビネット役員の皆様、スポンサークラブ、そして姉妹クラブの友情あふれる温かいご指導の賜物であり改めて深く感謝を申し上げます。

また、記念式典には、地区ガバナーL松浦則雄をはじめ331-C地区16名のご招待者。厚真町長宮坂氏他11名のご来賓、姉妹クラブ奥州市前沢ライオンズクラブをはじめと

する14クラブ195名の参加を頂き、盛大に挙行することが出来ました。大変ありがとうございました。

さて、私どもは結成以来、小規模ながら、ライオニズムの高揚に努めながら節目ごとの記念事業を実施して参りました。認証40周年記念アクティビティとして、青少年の健全育成を願って、「ライオンズ文庫整備費」として2百万円を厚真町へ寄贈いたしました。過去にも5周年記念事業として、消防署に「広報車」、10周年には北海道厚真福祉会に「身障者用体重計」と子供達の健全育成を願って「希望の像」を建立、20周年には町教育委員会へ「移動図書車」「観察用水槽一式」「町内道道沿い2か所に「PR塔」を建立、25周年には、厚真町社会福祉協議会に「35万円」の寄贈、30周年には、浜厚真サッカー場に「管理棟」を寄贈、35周年には、厚真町社会福祉協議会に「30万円」の寄贈など、通常のACTと共に記念事業を実施してきました。

当クラブは、2014年11月3日に実施された、厚真町表彰式において、長年の社会貢献に対して、「社会貢献賞」「善行賞」の栄誉を受けることとなりました。同時に我がライオンズクラブ会員から「社会貢献賞」2名、「善行賞」2名と、厚真町内ではライオンズクラブはもとより会員の奉仕の精神が、再度広く町民に認められた1年でありました。

これからも、ライオンズクラブのモットーである「We Serve」の精神を使命として、会員一同活動して参ります。





《江差姥神大神宮渡御祭り》



第1R RC
L紺谷 ひろ美
(江差ライオンズクラブ)

江差町の最大のイベントは、全国的にも有名な「姥神まつり」です。

人口約8500人の普段閑静な町に、8月のお祭りだけは帰省するという根っからの「祭り馬鹿」が集結して、文字通り「お祭り騒ぎ」のごった返し状態で、この日はやはり、町が1つになります。地元はもとより町外に出た人も、365日1年中お祭りの話ばかりして、時には言い合いになり、お祭りに関しては熱い江差の町です。

(躍動編) 渡御は本祭10日、11日それぞれ午後1時と正午から始まり、猿田彦の行列が先導して、3本の神輿と鳳輦が続き、その後町内13台の山車(ヤマ)が賑やかに従います。行列が通る際、もし家の洗濯物が見えたり、二階の窓から一行を見下したりすると猿田彦はその場に座り込んで動かなくなってしまいます。行列は猿田彦の意のままに、止まったり進んだりして町内を巡ります。



(華麗編) 祭りを盛り上げるのは山車(ヤマ)の役目です。各町保存会の人々は、この日の為に山車を守り続けています。13台の山車(ヤマ)の中には宝暦年間につくられ、神功山や同じく弘化2年につくられた松寶丸は道文化財になっています。ただ高価だけではなく、歴史的にも貴重なものなのです。それが博物館に飾られるのではなく、生きた歴史として、今も祭りの主役として活躍しているところに、江差の祭りに対する熱い思いがうかがえます。

(童子編) 祭りの昼の主人公は子供たちです。江差の子供たちは幼児のうちから山車に魅せられ、長い町内巡行に引き廻わされ、いつしか「祭り」をその魂に染み込まれます。中学校になると「笛吹」や「太鼓打ち」に夢中になり、やがては山車が電線にひっからないように棒で防ぐ、「線取り」などがあこがれの役目となります。こうして江差の子供達は、いつかは人望を集め、山車の総責任者「頭取」の役に就く事を夢見ることとなります。

(饗宴編) 巡行中、笛や太鼓の祭り囃子がとても賑やかです。神社前や各家に止まる時は「立山」。進んでいる時は「行き山」。町内に帰る時は「帰山」、とそれぞれ異なります。さらに「立山」「行き山」「帰山」も各山車によって独自の調子を持っています。毎年囃子コンクールが開かれ、その競演にもいっそう熱がこもります。

(宿入れ編) 夜の神事のハイライトは、神輿が神社に戻る「宿入れ」です。8人の白丁子がタイマツの火で参道をはき浄めるように駆け登り、それに続いて神輿も石段を駆け巡ります。しかし一度では神意の嘉納するところとはならず、一基目は7度、二基目は5度、三基目は3度目によやく神殿に納まります。「7・5・3」の吉数を踏むわけです。

(歓喜編) この祭りの最大のクライマックスは、なんとと言っても11日の本祭りの最後の夜です。神輿が神社に帰り宿入れを終わる頃、ホテルニューエさし前の十字街には、次々と光り輝く各山車が集合します。街頭放送のスピーカーがそのつど山車の名を絶叫します。

沿道は人でぎっしり。エンヤーエンヤーの掛け声、力任せの太鼓の響き、飛び跳ねる者など囃子の競演が続きます。いつしか太鼓も火のついたような乱れ打ちと

なり、人々の熱意と歓喜は燃え盛る光と音の渦となって江差の夜空を衝き上げます。クライマックスの締めは一転して荘重な調子の「キリ声」。

頂点に達した興奮が静かな言祝の響きの中で、祭り独特の哀感とともに鎮められていきます。虚脱したように沿道にしゃがみ込む人。遠くから聞こえるなごりおしいような囃子の音。祭りの後にももの悲しさ。お祭りの終盤を迎えて、江差の人々はすでに秋の気配を感じています。

【姥神大神宮の由来】

姥神大神宮の創立は不詳ながら昔から伝わる一つの伝説に始まります。ある日、どこからともなく一人の姥(婆さん)が江差にやってきて、津花の地に草庵を結びました。蝦夷地は冷涼で作物もあまり取れず、餓死する者も出る状況だったとされています。

そんな中で姥は天変地異を事前に知らせる事で人々から神様のように扱われ、折居様(おりいさま)と呼ばれるようになりました。

ある夜、神島(今の鷗島)から虹のような光に草庵が照らされました。不思議に思い訪ねてみると、白髪の爺が岩の上に座り「汝の来れるを待てり。機、正に熟せり、小魚群来するに至るべし、之を持って島人の衣食住の資(たすけ)とすべし。吾汝と共に島人を永く譲らん」と告げて焚火と共に消えました。

折居様は教えられたように、瓶子の水を海中に注ぐと、海水が白色に変わり鯉が群来して人々を飢えと寒さから救ったとされています。やがて折居様も草庵に五柱の御神像(天照大御神、天兒屋根大神、住吉三柱大神)を残したまま姿を消しますが、人々は姥にちなみ「姥が神」として祠を建てて祀り、後に初代藤原永武がこれに奉仕しました。その後、本道には鯉が群来するようになり「白金寄する」地として年々本州より人々が渡って江差は経済の中心となり、姥神大神宮は北海開祖神とも陸奥国松前一の宮とも云われるようになりました。

正保元年(1644年)には津花の地から現在地に遷宮し、渡御祭はこの頃からは行われたと考えられます。

文化14年(1817年)には朝廷にて119代光格天皇陛下、上卿唐橋大納言列座の下、十代相模守従五位

下大神主藤枝政光が召されて、正一位の位記と大神宮号をすすめられました。また神職は代々豊後守、相模守に任ぜられ従五位下に叙せられています。





『新幹線時代到来を ビジネスチャンスに!』



第1R第2Z ZC
L菊地 祐司
(松前町観光協会会長)

年も変わり春の訪れを観光に携わる一人として心待ちにしている。

我が松前町、休眠中の桜はどんな花を咲かせてくれるのか楽しみでもある。

毎年50万人の観光客が訪れ、春はその半分近くの方々が観桜に来てくれる。

8300人の定住人口しかない町に60倍の人がきてくれます。

日本人の年間消費金額が一人124万円とすると50万の観光客つまり交流人口は年間1500人になり、定住人口8300人にプラス1500人の9800人に相当する経済効果をもたらしてくれる。

来年の今頃は北海道新幹線が、新函館北斗～東京まで4時間で開業し、道南はフィーバーしているだろう。新幹線時代に観光客が10%延びると1500人分の定住人口が更に加わる経済効果は少子化、過疎に悩む地域としては、観光が産業の底上げ効果の起爆剤になることは間違いはない。

新たな経営戦略を図っていく気概を持たねばと、心が休まる暇はない。

特にアジアの国々の訪日数が驚異的に伸びている。なぜ日本に目を向けるのかそれは自国にはないサービスオリティーの高さだそうです。つまり日本人の慮(おもんばか)りやおもてなしの精神がアジアの人々には感動に近いものを感じさせるそうです。

(ツアーバスに同行旅行関係者意見)

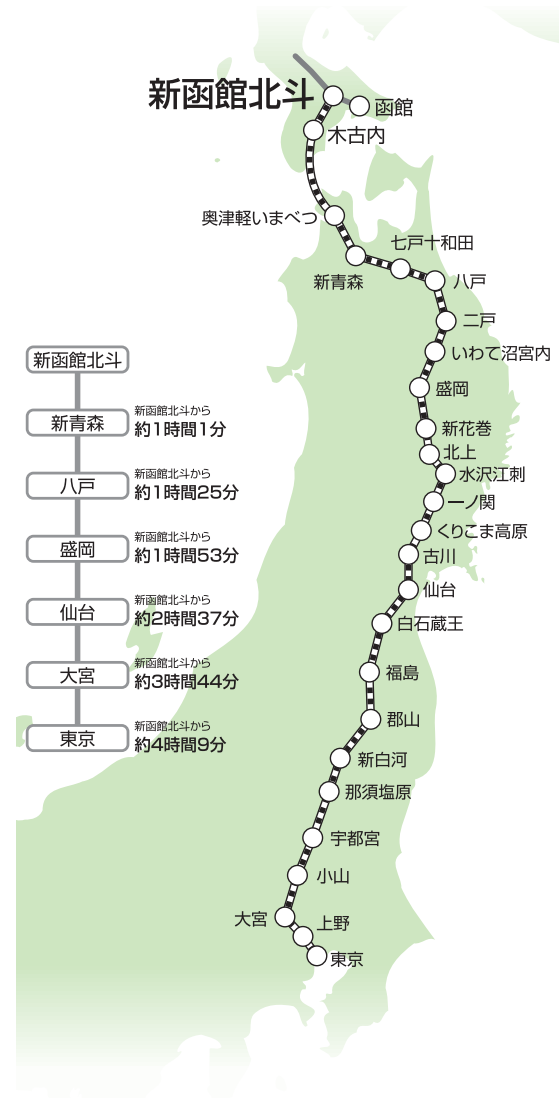
今後も2020年の東京オリンピックなどの開催を見据えた、長期的なビジョンを構築していかなければならない。

今、自動運転が可能となる可能性がある全く新しい自動

車の開発を急ピッチで進めている会社がある。それは何とグーグル社である。これまで自動車メーカーがしのぎを削ってきた場所とは、戦う土俵そのものが全く異なってくる可能性がみえてくる。まさしくイノベーションであり、従来の枠組みではなく改善を繰り返すだけでは到達できない領域です。

求められるのはリフレーム、つまり枠組みそのものを変え、新しい価値を生み出し、ユーザーの動向を観察しそれをもとに洞をし手を打つという考えです。

同じように従来では考えられなかったものが観光の牽引力となってリードし、おもてなしの精神に磨きをかけた新たな道を切り開いていけるだろう。



東京～函館間新幹線停車駅一覧

元祖シバオケで!! “夢と笑いと楽しい思い出創りを”



登別LC会長
L田中 秀治

やはり寒くなると恋しくなるのが温泉。“ダメよ。ダメダメ!!”の日本エレキテル連合は、「湯布院の温泉宿があるけど」をネタにしているが、湯布院に並び老若男女が四季を通じ気軽に行けるのが登別温泉。「8時だよ。全員集合」ドリーフターズで馴染みの「ビバノン音頭～いい湯だな」では“ここは北国、登別の湯”と歌われる程に豊富な湯量と種類・効能で「温泉のデパート」を誇っている。

ホテルはレジャー大型スパから老舗旅館まで並び、街周辺にはユニークな鬼モニュメントや湯鬼神の金棒が9本登場して歓迎、観光客を喜ばせる。随分昔になるが、ライオンズの大先輩より温泉ルーツを聴かされた。

登別温泉は日露戦争から、傷病兵の保養地として全国に知られ、次々と旅館、土産店が建ち温泉情緒が生まれる反面、夜の歓楽街としても芸妓置屋・ス〇〇〇プ劇場が点在、温泉独特の昼と夜の顔を持ち大層賑わったと云う。

今や通称「極楽通り」では粋な姿の芸者さんに会う事もなく、風情のある浴衣姿も少ない。代わりに東洋系外人の浴衣客が目立ち温泉街の夜の雰囲気も随分と変わっている。

そんな、温泉極楽通りにひと際、華やかに大奮闘しているユニークな所がある。我がL安中美恵子が経営している元祖「シバオケ三平」を是非とも紹介したい。

芝居風コスプレカラオケで“夢と笑いと楽しい思い出創り”をモットーに開業35年、100席の設備を有し、華やかな衣装・メイクで客を大変身させ、自由なパフォーマンスで歌ってもらう。衣装小道具は本格的に東京専門店より仕入れビジュアル系を含め各種300着以上、時代に合わせた発想とおもてなしの拘りは実に面白い。

また、人間味溢れたL安中の奉仕スピリッツは人一倍、休日返上で施設・病院へ継続訪問、シバオケを通じてお年寄り・障がい者へ潜在的な笑いを提供している。当クラブの中核事業には白老・登別中央・登別LC合同例会&シバオケ大会がある。今や各クラブ精鋭で役者揃いの我がクラブも“悔しいけれど～いいじゃ、ないの～”!?で白老LC若手Lに優勝をさらわれる現況。

更に、L渡辺尚彦(幹事)&ハーレムアイランダース(全国屈指バンド)とシバオケ・ジョイントLCチャリティーを開き、益金を社会福祉協議会へ贈呈しているが、シバオケは華やか壮絶。まあ一度体験すると本能が蘇り病みつきになりますよ。是非とも登別温泉でド派手な衣装・メイクで歌い楽しんでみては。

店の1階には姉妹店L神藤男の「スナックブルーナイトさんぺい」営業。どちらも気軽にLと言って来店するとウエルカムらしい。

登別LCシバオケチャリティースナック





ライオンズクラブは発祥地がアメリカのシカゴ。用語や会議語録が難解・難問が多々。

以下思いつくまま抜粋して記載します。

■リジョンコーカス

リジョンチエアーパーソンが主宰して次期地区役員(ゾーンチエアーパーソン)を推薦する地区会則規定。コーカスは大統領や重要役員を決めるための「秘密会議」に準拠。

■ガバナー諮問委員会

主にキャビネット会議の決定事項などを各クラブ会長に周知徹底するために、ガバナーの諮問を受けてゾーンチエアーパーソンが招集する会議。出席義務はクラブ会長と幹事。

■ガバナーチーム会議

ガバナーを筆頭に第1副地区ガバナーと第2副地区ガバナーとの連携を密にして、キャビネット運営を、円滑かつガバナーズローガンの目標を達成するために開催する会議。

■地区GMTチーム

2008年7月から始まったグローバル(メンバーシップ)会員増強チームの意味。

第1副地区ガバナーとGMTコーディネーターを核に、

各リジョンチエアーパーソンで構成される。

■地区GLTチーム

2011年7月から始まったグローバル(リーダーシップ)指導力育成チームの意味。

第2副地区ガバナーとGLTコーディネーターを核に各ゾーンチエアーパーソンで構成される。

■リジョンチエアーパーソン

地区ガバナーの指導監督の元に、責任者としてリジョンの運営に当たり、GMT及びGLT地区コーディネーターチームのメンバーとして加わる。

■ゾーンチエアーパーソン

地区ガバナー及びリジョンチエアーパーソンの指導監督の元に、責任者としてゾーンの運営に当たり、GMT及びGLT地区コーディネーターチームのメンバーとして加わる。

■プロトコール

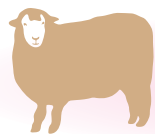
ライオンズクラブは国際的な団体組織。外交儀礼や国際慣行の基準と役職ごとに配列順位のグローバルスタンダードを規定している。(国際会則規定)

■地区名誉顧問会議

主として前・元地区ガバナーを構成員とする。限りない地区運営繁栄のために融和及び調和を図る事を最大の趣旨とした会議。

■アワード

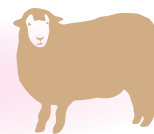
毎年ライオンズクラブ活動に大きな功績を残した会員に対して、国際会長賞などの賞を贈呈する会則規定。



祝 *Congratulation*

【我らメーメー未成年群団で一す】

★各年代別を代表して抱負をインタビューしました。



《昭和6年代表》

室蘭東ライオンズクラブ
L金濱 宣雄

3年前から透析に通い始め、日々体調に気を付けている毎日であります。現在は、これまでのような活発な活動はできませんが、家内や息子の手助けをもらいながら

春には畑を耕すことを楽しみに体調管理をしております。

早7回目の年男になるわけですが、振り返ってみるとその時々喜びや苦しみ、苦勞があり、今思えば人間すべて塞翁が馬だと思ったりします。

今年は、家族に迷惑を掛けずに体を労わり、これからも家族と共に仲良く長生きできれば良いと願っております。

《昭和6年代表》

ニセコライオンズクラブ

L 樫原 和雄

7回目の干支の年。ライオンズの世界につながるパワーを活かして小さな地域のパワーアップに貢献できないのか小さい町村の情報や人の交流を通して世界目線で将来を再構成する次世を代育成する役割を課題としたい

《昭和30年代表》

2015年の抱負

岩内ライオンズクラブ

L 中川 栄司

還暦です、体調の変化を微妙に感じてきました。何事にも、無理せず一歩先を見て生活していきます。

《昭和18年代表》

羊年に思う

MD331百周年記念コーディネーター
地区名誉顧問・長期計画リサーチ委員

L 茂尾 実

来期国際会長に就任する山田国際第一副会長も羊年である。待望であった日本からの2人目の国際会長は、日本人の目線と価値観で世界のリーダーになってくれることと期待している。国際協会創設100周年へのカウントダウンが始まりました。国際会長を擁する日本として記念奉仕チャレンジに積極的に取り組み日本の奉仕の力を世界に示すことができるように微力ながら精進したいものである。

《昭和54年代表》

今年の抱負

臥牛ライオンズクラブ

L 徳山 千春

今年3回目の羊ちゃんです。臥牛ライオンズクラブに入会させて頂いて、早いもので7年目になります。今年は新しい事に挑戦したいと思ひ、現在着付け教室に通っております。他にも興味はありますが不器用なので、習い事は1つか2つにおさえて、仕事、クラブ活動を頑張りたいと思ひます。私は昭和54年生まれ未年なのですが、最近やっと健康が一番大切なんだと気付きました。自己管理をしっかりして人様に心配をかけないように1年過ごせたらと思っております。皆様も健康で楽しい1年になりますように。これからもよろしくお願ひ致します。

《昭和30年代表》

【ひつじ年の抱負】

青少年キャンプ及び交換委員会

委員長 滝沢 富人

明けましておめでとございます。回り回って生れ歳の羊さんがやってまいりました。昨年は、キャビネットの大役を受けて置きながら皆さんにご迷惑をかけた(前厄かな?)一年でした。特に末永副委員長、加藤委員にはまかせっきりの状態でYCEの諸会議、連絡調整等多岐にわたりお願ひした状態でした、今後夏季の派遣生の受け入れ、ユースキャンプ等の事業がありますので、C地区各クラブのご協力を頂き交流事業を進めたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

《昭和54年代表》

「今」出来る「奉仕活動」を着実に

黒松内ライオンズクラブ わかぶな支部

L 忠鉢 貴之

平成23年6月に黒松内ライオンズクラブわかぶな支部が誕生して4年目となりました。誕生から今現在も、福祉関係者と商店関係の会員で活動しております。これまで、福祉と商業の異業種での集まりで何が出来るかを時間をかけて考えながら、野球教室、除雪活動、ボジョレーヌーボーを楽しむイベント等を行ってきました。現在はペットボトルキャップリサイクル社会貢献活動をメインに地道に活動しております。この活動はボトルキャップをリサイクルメーカーへ売却し、売却利益をワクチン寄贈団体へ寄付する活動とのことで、わかぶな支部会員で、主に黒松内町民より協力を得て行っております。わかぶな支部のモットーとしては、「今出来る奉仕活動を着実に行っていこう」としており、会員及び協力者が負担を感じず、奉仕活動が出来るものを推進していきたいと思ひから、この活動を継続しております。現在のところ158,928個を回収し送ることが出来ております。これは約200人分のワクチンに値するそうです。これからも、創始者メルビンジョーンズ語録にある「奉仕無くして進歩なし」を胸に刻み活動していきたいと思ひます。

《昭和42年代表》

倶知安ライオンズクラブ

L 大広 直

私は、今年4回目の年男となります。2010年の青年アカデミー委員会の発足以来、倶知安クラブメンバー以外にも沢山の友人が出来ました。充実したライオンズライフを送れるのは、明るいクラブ作りをして下さる先輩ライオンや青年アカデミーの皆様のご賜物と心より感謝しております。未干支の由来は「群れをなす羊はいつまでも平和に暮らす」意味もあるそうで、今年も皆さんと元気よく歩んでいきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



◆各クラブの未年メンバー一覽 (年代別)

※敬称省略

昭和6年	金濱 宣雄(室蘭東) 川口 隆司(登別)	檜原 和雄(ニセコ)	奈良 トキ(ニセコ)
昭和18年	茂尾 実(黒松内) 山村 卓(函館) 福 一城(余市) 葛西 重義(小樽中央) 池上 晃平(小樽うしお) 工藤 憲静(洞爺) 佐藤 一夫(鹿部) 峯 繁實(苫小牧) 加藤 孝治(苫小牧ハスカップ) 加藤 和東(苫小牧中央) 吉田 晴雄(早来) 内藤 建士(苫小牧白鳥)	竹内 捷次(函館) 阿部 和弘(小樽) 富田 晃司(小樽中央) 宮武 聖生(倶知安) 丹羽 道正(白老) 石原 宏子(室蘭東) 角本 芳隆(函館グリーン) 山下 春三(静内) 両川 武弘(鶴川) 北山 英征(苫小牧中央) 黒澤 壽紀(厚真) 澤田 壽子(小樽グリーン)	前田 勝次(函館) 菊地 健夫(余市) 三浦 恂宗(小樽中央) 中村 勝也(小樽みなと) 尾形 勝夫(登別中央) 斉藤 紘(上磯) 石岡 憲義(函館臥牛) 大澤 保文(静内) 清水 啓三郎(鶴川) 滝 孝(早来) 大捕 良一(苫小牧白鳥)
昭和30年	滝沢 富人(江差) 石渡 綾子(函館すずらん) 小嶋 研一(余市) 岡久 孝雄(黒松内) 古谷 和之(倶知安) 渋谷 幸一(洞爺) 溝口 裕康(函館海峡) 阿久津 修一(苫小牧) 敵田 正(鶴川) 阿部 一二(早来) 石井 勉(厚真)	金子 達也(函館) 斉藤 尚仁(函館北斗) 坂本 眞貴子(余市) 出口 雅昭(黒松内) 小川 哲司(小樽うしお) 半田 洋(洞爺) 松本 衛(函館元町) 及川 静子(苫小牧) 稲葉 信治(苫小牧中央) 廣中 好晴(早来)	片石 明彦(江差) 嶋 保(余市) 中川 栄司(岩内) 成田 顕充(倶知安) 山田 忠博(白老) 津川 圭三(室蘭東) 松川 明弘(鹿部) 阿部 博之(鶴川) 小山 良雄(早来) 秋永 徹(厚真)
昭和42年	大広 直(倶知安) 濱野 孝博(余市) 門田 美樹(倶知安) 山城 栄太郎(小樽みなと) 目良 浩一(洞爺) 田中 秀範(函館中央) 三本 末紀(早来)	山本 泰樹(函館) 茂尾 公晴(黒松内) 釜江 良尚(倶知安) 青塚 和幸(ニセコ) 嶋津 研史(室蘭東) 黒澤 英浩(苫小牧中央) 木戸 義光(苫小牧白鳥)	塚本 修一(江差) 片桐 尉晶(小樽中央) 西村 富英(倶知安) 山下 誠二(登別中央) 大久保 建一(八雲) 坂本 将一(苫小牧中央) 下谷内 浩二(苫小牧白鳥)
昭和54年	徳山 千春(函館臥牛) 忠鉢 貴之(黒松内支部わかぶな)	瀧江 美華子(函館) 福尾 実(小樽うしお)	住吉 絵梨子(函館すずらん)

※太字…抱負記述者

第1R

函館LC

献血ACT1月15日(木)



12:20~17:00
棒二森屋デパート
200ml 18名
400ml 29名
総採血量15,200ml
L11名 【労力】33H

ホカロンで暖をとりながら献血の呼びかけをおこなった。

函館ワンニャンパトロール支援 ..1月22日(木)



2014年11月6日に開催した「チャリティーワインと音楽の夕べ」収益金の一部15万円を函館ワンニャンパトロールへ寄贈した。
捨てられた犬や猫の新しい飼い主を捜す為の支援になればと思い毎年寄贈しています。

江差LC

上ノ国町 食の祭典で
ミーナ募金の呼びかけ1月25日(日)



上ノ国町で行われた食祭典でミーナ募金の呼びかけを行いました。
7人×4H=28H

北檜山LC

タオルボランティア12月14日(日)

特別養護老人ホームきたひやま荘
141枚 労力アクト 24H 金額 14,100円

木古内・知内LC

タオルボランティア12月17日(水)

特養ホーム木古内恵心園 180本
労力アクト 30H 金額 18,000円

タオルボランティア12月22日(月)

特養ホーム知内しおさい園 180本
労力アクト 30H 金額 18,000円

福島LC

園児にクリスマスケーキプレゼント
交通安全運動

タオルボランティア12月12日(金)



保育所と幼稚園の園児にクリスマスケーキをプレゼントし、又お昼からは国道228号線警察署の前で道行く車にお土産を手渡し交通安全啓蒙を呼びかけました。同日キャビ

ネットの進める手拭いを老人ホーム陽光園に300本位寄贈しました。



第2R

小樽LC

「薬物乱用撲滅パネル展」に協賛 ..12月6日(土)



長崎屋1階公共プラザにて開催された「薬物乱用撲滅パネル展」に協賛。
オープニングセレモニーに会長が出席しテープカットを致しました。
1L×1H=1H
20,000円

成人式の盛花1月11日(日)



小樽市成人式へ小樽5LCでステージを飾る盛花を寄贈致しました。
10,000円

余市LC

秋・愛の血液助け合い運動 ..10月10日(金)



春・秋と年2回行われる”愛の血液助け合い運動”が町内3箇所で開催され、余市ライオンズクラブからも15名が献血を行いました。
町内での献血者数は86名が献血を行いました。



アクティビティの記録

チャリティ例会

世界のワインパーティー・・・11月20日(木)



毎年、ボージョレ・ヌーヴォー解禁日に行っているチャリティ例会”世界のワインパーティー”を11月20日に開催しました。第18回目となるこの会では、毎年楽しみにされている方が大変多く、今年も200名の方がボージョレ・ヌーヴォーの他白・

赤7種のワインを愉oshimimashita。

チャリティとして小樽余市合同事業110,400円のうち59,000円とチャリティワインパーティー収益金の11,400円を合わせ、余市教育委員会へ余市町内の小中学校8校にワンタッチテント8台を寄贈致しました。

43名×4H=172時間

タオルボランティア・・・12月9日(火)

(社)よいち福祉会 300枚 50時間 30,000円
(株)デイサービス・ひかり 200枚 33時間 20,000円

リサイクル眼鏡

回収アクティビティー・・・1月27日(火)

眼鏡のみ 39個 レンズのみ 2個 サングラス 2個
合計 43個

岩内 LC

広島市災害義捐金協力・・・12月

金銭ACT 10,000円

社会福祉協議会へ

歳末助け合い協力・・・12月

12月7日に開催された、クリスマス家族会で会員が持ち寄った品で行われたオークション収益75,100円を歳末助け合い協力金とした。

寿都 LC

タオルボランティア・・・12月2日(火)



寿都しおさい学園 39枚 7時間 3,900円
寿都浄恩学園 71枚 12時間 7,100円
歌棄洗心学園 76枚 13時間 7,600円
寿都寿海荘 50枚 8時間 5,000円

歌棄慈光園 124枚 21時間 12,400円

タオルボランティア・・・12月3日(水)

ふれあいの里グループホームすつつ 31枚 5時間 3,100円
島牧慈光園 58枚 10時間 5,800円
島牧柏光園 50枚 8時間 5,000円
合計 499枚 84時間 49,900円

小樽グリーンLC

グリーン盟友 植樹・・・11月1日(土)

グリーン盟友クラブ 全国20クラブで、当番クラブ地域に植樹をしました。



冬の交通安全街頭啓発・・・11月11日(火)



9:30～

小樽駅前において交通安全の呼びかけを行いました。

労力アクト 1H

第54回小樽市青少年読書感想文

コンクール表彰式・・・11月29日(土)



小樽市民センター マリンホールにて第54回小樽市青少年読書感想文コンクール表彰式が開催されました。

労力アクト 12H

金銭アクト 288,032円

薬物乱用防止 パネル展・・・12月6日(土)



長崎屋小樽店にて薬物乱用防止を呼び掛けるパネル展が開催され参加しました。

労力アクト 1H
金銭アクト 10,000円

旭展望台 整備・・・12月6日(土)

旭展望台 給水台 冬期水抜き作業をして頂きました。
金銭アクト 21,600円

黒松内 LC

眼鏡回収・・・12月12日(金)

ケース付き 35個 眼鏡のみ 9個 レンズのみ 5個
ケースのみ 1個

小樽中央 LC

小樽市博物館の餅つきに参加、もち米寄贈・・・12月21日(日)



午前10時30分より小樽市博物館(運河館)にて行われました。小さな子供も杵を振り上げてもちつきを体験し、日本の伝統文化を楽しんでいました。

クリスマス交通安全キャンペーンに参加・協賛・・・12月15日(月)



14時よりサンモール一番街にて実施。雪が降り続く寒い日でしたが、飲酒運転撲滅・交通安全などを呼びかけるため、チランと当クラブで用意したお菓子入りのクリスマスブーツを交通安全指導員協議会の方々と共に、市民の皆様 に配布しました。

俱知安 LC

歳末助け合い募金・・・12月8日(月)



Xマス家族会会場に於いて、歳末助け合いオークションを行い益金を俱知安町に寄贈。

金銭ACT 60,000円

小樽みなとLC

「おたる天使プロジェクト」オルゴールを贈呈・・・12月



平成26年1月1日～12月31日までに小樽で生まれた新生児へフォトフレーム付きのオルゴールをプレゼントする企画で、事前に申し込みを頂いた17名へ贈呈をしました。

今月より贈呈会場を小樽市保健所より、事務局へ移動。1日しかなかった贈呈日が、毎月第3・4週の月曜日～金曜日の10日間へ拡大。申込者より喜ばれております。

園児と一緒にもちつき大会・・・12月2日(火)



小樽龍徳保育園を慰問、もち米12kg、粒あん8kgを持ち込み園児と一緒に餅つきを行った。杵、臼を使って日本の伝統を伝えて38年目、つきあがったお餅はお雑煮、大福にと、園児と一緒に昼食をいただきました。

認可外保育施設へ灯油贈呈・・・12月4日(木)



クリスマス家族会記念アクティビティとして小樽市認可外保育6施設へ、灯油各¥30,000相当をプレゼントした。

12/4(木)第1287回例会に園の代表らを招待、日頃の労をねぎらいメンバーと共に昼食をとり、それぞれに目録を

会長から手渡した。

マミー代表の廣原さんは、「年々児童が減少してきており運営も大変で、もう何年も無給ですが子どもたちの笑顔を見ると辞めるわけにはいかない。灯油のプレゼントの案内が来年も届くように」とお願いされました。



アクティビティの記録

「薬物乱用撲滅キャンペーンパネル展」を協賛12月6日(土)

小樽薬剤師会「薬物乱用撲滅キャンペーンパネル展」を協賛。

「おたる天使プロジェクト」オルゴールを贈呈1月



平成26年1月1日～12月31日までに小樽で生まれた新生児へフォトフレーム付きのオルゴールをプレゼントする企画で、12月中に事前申し込みを頂いた21名へ贈呈をしました。

熱バレ!第2回小学生ソフトバレーボール大会1月18日(日)



小樽市総合体育館にて熱バレ!第2回小学生ソフトバレーボール大会が開催されました。

冬季の室内スポーツに適し小学生のバレーボール人口を増やそうと企画され、当クラブは第1回目より協賛、後援

をしております。(会場内には小樽みなとライオンズクラブの旗10枚を掲揚)

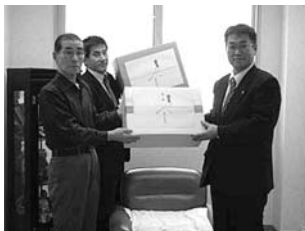
成人式会場に盛花贈呈1月11日(日)



小樽市成人式会場となる小樽市市民会館ステージへ、盛花(5LC)を贈呈しました。

京極LC

タオルボランティア12月15日(月)



「社会福祉法人黒松内つくし園養護老人ホーム慶和園」

数量 267枚
労力アクト 45H
金銭アクト 26,700円

歳末助け合い募金12月15日(月)

京極町社会福祉協議会 20,000円

町内除雪ボランティア イベント参加1月17日(土)

京極町社会福祉協議会が主催した、町内の除雪が困難な高齢者世帯を除雪するボランティアに参加しました。

6名×3時間=18時間

小樽うしおLC

小樽うしおLC杯争奪 第18回北海道小学生親善バレーボール大会11月23日(日)



実施日 平成26年11月23日(日)

開会式 9:20～

小樽市総合体育館

参加L 9名

第3R

室蘭LC

不要になった眼鏡の回収ボックスを設置1月



社会貢献事業の一環として市内6施設に不要になった眼鏡の回収ボックスを設置した。

歳末助け合い運動12月22日(月)

歳末助け合い運動の一環で年末家族例会で集めたドネーションを寄付した。

金銭アクト 14,000円

児童絵画作品展開催・・・12月2日(火)



児童絵画作品展開催で320点の作品が出品され、子供たちの室蘭への郷土愛のあふれた作品が展示された。金、銀、銅の受賞者に賞状と記念品、応募者全員に参加賞を贈呈した。

労力アクト 117H
金銭アクト 114,577円



登別LC

チャリティーパーティー開催・・・12月7日(日)



第2回登別ライオンズクラブ&シバオケ三平35周年との共催にてチャリティーパーティー開催。バンド演奏あり、シバオケあり皆さん賑やかに楽しいひと時を過ごされていました。益金の一部を「登別社会福祉協議会」に寄付した。

金銭アクト 30,000円 労力アクト 4H×8L=32時間

献血アクティビティ・・・12月22日(月)



イオン登別店で買い物客へ献血を呼びかけた。

労力/2 H×3L=6H
採血/19名
採血量/7,600 ml

高齢者施設の餅つき大会に協力・・・12月26日(金)



中登別町にある高齢者施設「グリーンコート三愛」の餅つき大会に協力参加、施設入居者の方達は大変喜んでおられました。

労力/2 H×8L=16H

市立図書館へ図書購入費を寄贈・・・1月15日(木)



市役所において市立図書館の図書購入費を寄贈。

金額/30,000円
労力/2L×0.5H=1時間

白老LC

タオルボランティア・・・12月4日(木)



白老町社会福祉協議会
320本
労力アクト 53H
金額 32,000円

室蘭北斗LC

「歳末たすけあい募金」寄付・・・12月17日(水)



クリスマス家族同伴100%例会開催にて、共同募金「歳末たすけあい運動」の募金を募り、集まった善意を24日(水)会長・幹事が室蘭民報社へ寄託。
金銭ACT 23,000円
労力ACT 40H

登別中央LC

中古眼鏡回収・・・12月16日(火)



市内3カ所に設置していた「リサイクル眼鏡回収ボックス」を回収し、12月17日にキャビネットへ送付した。

労力アクト 12時間
金銭アクト 1,030円(送料)



アクティビティの記録

洞 爺 L C

家族同伴クリスマス定例会・・・12月17日(水)



社会福祉法人幸清総合福祉館に於いて、12月家族同伴クリスマス定例会を開催しました。

先に、定例会を行いその後、テールツイスター義捐箱(広島災害義捐金)を持って会員の方達から義捐を募りました。

余興では、大西会長の扮するサンタクロースから参加された子供達にプレゼントを渡されました。

カラオケ大会・豪華賞品?の抽選会など催され、参加者一同楽しい一時を過ごしました。



室 蘭 東 L C

歳末たすけあい寄附金・・・12月16日(火)

歳末たすけあい寄附金として、12月16日会長・幹事の2名が民報社へ寄託した。

金銭ACT 5万円 労力ACT 1時間

リサイクル眼鏡ACT・・・12月16日(火)

近隣の眼鏡店より協力を得て、回収箱を置かせてもらい不要の眼鏡を集めた。

12月16日眼鏡を回収、仕分けしてキャビネットへ郵送。

眼鏡163個にて1630分・フレーム・ケースのみ105個にて525分・レンズのみ49枚にて120分・その他・郵便局まで持ち込み5分にて計算

労力ACT 38時間 金銭ACT 1,130円

伊 達 L C

伊達市へ歳末助け合い募金の贈呈・・・12月18日(木)



18:00～
家族同伴クリスマス第二例会の席上にて、当クラブ北郷会長より菊谷伊達市長へ募金の贈呈を行った。
100,000円の贈呈。

タオルボランティア実施・・・12月19日(金)



伊達市社会福祉協議会へ当クラブ三役・担当委員長がタオルを持参し贈呈式を行った。

社会福祉協議会より各施設にタオルを配布してもらうように依頼をした。

タオル 400枚 金額 400枚×100円=40,000円
労力 67時間

第4R

上 磯 L C

中古眼鏡リサイクル・・・12月5日(金)

眼鏡 375個 63H ケース 120個 10H
レンズ 14枚 1H 労力アクト 74H
眼鏡拭き 65枚
クロネコヤマト送付 金銭アクト 1,620円

函 館 元 町 L C

献血「学生クリスマスキャンペーン」・・・12月13日(土)



学生が献血を呼び掛ける「学生クリスマスキャンペーン」が行われました。

当日は寒波の中152名の市民の方に協力いただき56000mlを集めました。

参加した学生に、当クラブよりラッキービエロ商品券を贈呈しました。

12月4日 函館港湾合同庁舎 28名 11000ml
12月4日 NHK函館放送局 9名 2800ml
12月13日 クリスマス献血キャンペーン 152名 56000ml
12月17日 函館魚市場 13名 5000ml



タオルボランティア・・・12月20日(土)



地区統一ACT「タオルボランティア」で、集めたタオル400枚を旭ヶ岡の家に寄贈しました。

労力アクト 67時間
金額 40,000円

八 雲 L C

第53回クリスマス家族会・・・12月7日(日)



遊楽亭にて第53回クリスマス家族会が行われました。

タオルボランティア・・・12月16日(火)



社会福祉法人立栄会に450枚のタオルを寄贈しました。他に、特別養護老人ホーム等、計6カ所に合計1800枚寄贈しました。

労力ACT 300H
金額 180,000円

献血アクティビティ・・・12月24日(水)



役場前にて献血を行いました。

200ml 2人
400ml 37人
献血者 39名
献血量 15,200ml

森 L C

森町手をつなぐ育成会・・・12月7日(日)



昨年ジャンベ(アフリカ太鼓)を森町手をつなぐ育成会へ、寄贈したのに合わせ今年「アフリカダンス&パーカッショングループ マルタツコ」の能登部氏を講師に迎え、ジャンベの叩きかたなどを楽しみながら教えていただきました。

金銭ACT 10万円

鹿 部 L C

しかべ幼稚園もちつき会参加協力・・・12月3日(水)



しかべ幼稚園のもちつき会へ支援参加しまして、清水会長の挨拶のあと、LC会員と幼稚園児・父母と一緒にもちつきを楽しみながら、ライオンズの活動をPRしました。

会場では、園児が元気いっぱい餅をついて、「ライオンのおじさんいつもありがとう」とお礼を述べていました。
金銭アクト 44,711円 労力アクト 14時間

献血へ参加協力・・・12月18日(木)



午後12時20分
多くの住民の方が献血に協力くださるよう、住民へ呼びかけを行いました。

社会福祉法人渡島福祉会(渡島リハビリセンター)施設前に於いて、ライオンズ帽子を着用し、会員も献血に参加した。

労力アクト 11時間

タオルボランティア・・・1月27日(火)



世界ライオンズ奉仕デアクトとして会員から集めた新品のフェスタオル「190枚」を町内2カ所の介護福祉施設「(社)渡島福祉会・合同会社シケルペ」へ寄贈した。

労力アクト 32時間
金銭アクト 19,000円



砂 原 L C

平成26年度 クリスマスケーキプレゼント(特別養護老人ホーム)・・・12月24日(水)



町内にある特別養護老人ホーム(シャリテさわら)に1994年施設開設以来、入居者にクリスマス気分を味わって頂くため、毎年砂原ライオンズクラブではプレゼントを続けている。

函 館 臥 牛 L C

献血アクティビティ・・・11月26日(水)

北洋ビル裏 14:30~17:00
200ml~2名 400ml~21名=23名 献血量=8,800ml
労力奉仕メンバー~3名x2.5H=7.5H

献血アクティビティ・・・12月10日(水)



ラルズマート桔梗店
14:00~17:00
200ml~3名
400ml~18名=21名
献血量=7,800ml
労力奉仕メンバー~4名x3.0H=12.0H



アクティビティの記録

献血アクティビティ12月28日(日)

ダイエー上磯店 9:30~11:30 12:45~16:30
200ml~8名 400ml~47名=55名 献血量=20,400ml
労力奉仕メンバー~4名×5.75H=23.0H

献血アクティビティ1月4日(日)

ビッグハウス・アドマーニ美原 10:00~11:35 12:45~16:30
200mL~6名 400mL~47名=53名 献血量=20,000ml
労力奉仕メンバー~6名×5.25H=31.5H

献血アクティビティ1月18日(日)

ダイエー上磯店 9:30~11:30 12:45~16:30
200ml~10名 400ml~43名=53名 献血量=19,200ml
労力奉仕メンバー~2名×5.75H=11.5H

献血アクティビティ1月22日(木)

函館市青果物卸売市場 9:00~11:00
200ml~0名 400ml~17名=17名 献血量=6,800ml
労力奉仕メンバー3名×2.0H=6.0H

第5R

苫小牧LC

タオルボランティア11月27日(木)



保健社会福祉委員会
社会法人延山会苫小牧澄
川病院へ新品タオル247枚寄
贈。
労力アクト 41.0時間
金銭アクト 24,700円

歳末助け合い共同募金協力12月5日(金)

保健社会福祉委員会 金銭アクト 18,400円

共同学童保育所じゃがいもクラブへ 新米20kg寄贈12月10日(水)



保健社会福祉委員会
田んぼのオーナーで収穫
したお米20kgを、NPO法人
学童保育所じゃがいもクラブ

へ寄贈しました。子供達からお礼
の寄せ書きを頂きました。

労力アクト 1.0時間
金銭アクト 10,000円



ウイメンズ結へ新米20kg寄贈12月10日(水)

保健社会福祉委員会
田んぼのオーナーで収穫したお米20kgをNPO法人ウイメンズ
結へ寄贈しました。
労力アクト 0.5時間 金銭アクト 10,000円

YCE生受入ファミリーへの支援12月16日(火)

保健社会福祉委員会
毎年恒例の田んぼの稲刈り体験に行ってきました。今年は過
去最高の収穫量となったそうです。
金銭アクト 12,500円

広島市災害義捐金1月16日(金)

500円×36名 金銭アクト 18,000円

静内LC

歳末助け合い街頭募金ACT12月21日(日)



午後1時より町内3カ所にて歳末助け合い街頭募金A
CTを実施しました。募金協
力者にポケットティッシュを配
布致しました。
参加:20L
経費:4,860円
募金額:36,573円

歳末助け合い街頭募金寄贈12月22日(月)



歳末助け合い街頭募金
36,573円を北海道共同募金
会へ寄贈致しました。

参加:3L

新春席書大会協賛1月12日(月)



毎年恒例の新春席書大会
に協賛。
静内ライオンズクラブ会長
賞を5名に贈呈しました。

参加:5L
経費:15,000円(盾代)

門 別 L C

**中学校野球北海道代表
(杉谷選手)へ寄付**……………11月25日(火)

中学校野球北海道代表(杉谷選手)へ20,000円を贈った。

献血アクティビティ……………12月1日(月)

400ml×51名 20,400ml

第21回ライオンズカップフットサル大会…12月7日(日)

労力ACT 2H 金銭ACT 50,000円

交通安全街頭啓発……………12月15日(月)



13:00から30分間国道235号線と237号線の交差点にて交通安全の呼びかけを実施した。

成人式へ生花贈呈……………1月11日(日)

金銭ACT 10,800円

交通安全街頭啓発……………1月15日(木)

13:00から30分間国道235号線と237号線の交差点にて交通安全の呼びかけを実施した。

新 冠 L C

**単身老人「年越し 会食会」参加者の
送迎実施**……………12月4日(木)



町内に住む独り暮らしのお年寄りの「年越し 会食会」が開催され自宅から会場まで参加者の送迎を実施しました。

**老人ホーム「恵寿荘」へ
クリスマスケーキ贈る**………12月24日(水)



新冠町老人ホーム「恵寿荘」へクリスマスケーキを贈呈しました。

**新冠町老人ホーム「恵寿荘」へ
未使用タオル贈る**……………12月24日(水)



新冠町老人ホーム「恵寿荘」へ未使用タオル300枚を贈呈しました。

苫小牧ハスカップLC

歳末助け合い募金……………12月4日(木)



社会福祉委員会
12月第1例会歳末募金例会場で実施

募金金額 15,500円

マレーシアからのYCE生受け入れ
……………12月6日(土)～12月19日(金)



ホストファミリーL加藤孝治
YCE生 LEE WEI CHUN 16才

12月6日ホストの加藤孝治家族と会長幹事が歓迎のお迎えに行きました。

金銭ACT 62,500円
労力ACT 9.0時間

12月11日(木) 19:00よりグランドホテルニュー王子にて家族クリスマスパーティーとYCE生の歓迎会を開催しました。

金銭ACT 8,000円



12月17日(水) 19:00よりYCE生歓送迎会を加藤宅で開催しました。

金銭ACT 33,000円
労力ACT 55.0時間

労力ACT合計 336.0時間



アクティビティの記録

廃品回収アクティビティ・・・12月14日(日)



社会福祉委員会
L参加人数 9名
金銭ACT 10,394円
労力ACT 36.0時間

広島災害義捐金拠出・・・1月9日(金)

500×30名 金銭アクト 15,000円

ウトナイ湖サンクチュアリへ支援金と感謝状贈呈される・・・1月15日(木)



環境保全委員会
ウトナイ湖サンクチュアリへ
支援金と例会において日本
野鳥の会より感謝状贈呈さ
れる。
18:00～
場所 グランドホテルニュー王子
金銭ACT 52,000円

苫小牧スピードスケート連合少年団へ活動資金を援助・・・1月21日(水)



青少年育成委員会
苫小牧スピードスケート連
合少年団へ活動資金を援助
17:00～
場所:苫小牧市ハイランドスケ
ートセンター
金銭ACT 50,000円
労力ACT 4.0時間

鷗川LC

タオルボランティア・・・12月3日(水)



特別養護老人ホーム
胆振東部鷗川慶寿苑
130枚 22時間 13000円
NPO法人
楽らくはうすデーサービス
65枚 10時間 6500円
NPO法人 宅老所 日和
66枚 11時間 6600円

特別養護老人ホーム 介護老人福祉施設愛誠園
130枚 22時間 13000円
合計 4件 391枚
労力アクト 65時間 金額 39100円

広島市災害義援金拠出・・・12月5日(金)

広島市災害義援金 1,000円×30名 30,000円

歳末助け合い義援金贈呈・・・12月23日(火)



クリスマスパーティー壇上
にて、むかわ町共同募金委員
会副会長に義援金を贈呈し
ました。

金銭ACT 50,000円

鷗川慶寿苑クリスマス会支援・・・12月25日(木)



慶寿苑クリスマス会に招待
され、担当委員長から施設長
にジュースを届け入苑者とご
家族の皆さんと楽しい一夜を
過ごしました。

労力ACT 1L×1H
金銭ACT 2,528円

第3回献血ACT・・・1月15日(木)



むかわ町四季の館とワーカ
ム北海道の二カ所で行実施。当日、
鷗川高校野球部員25名が協力。
採血者に玉子を進呈しました。

労力ACT 7L×4H
1L×1H 29H
金銭ACT 玉子100ケース
他 19,350円

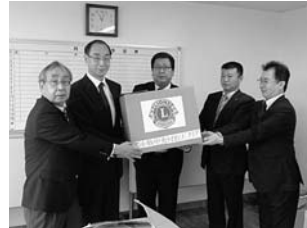
< 献血実績 >

むかわ町四季の館
採血人数 66名
ワーカム北海道
採血人数 19名
200ml/17名 400ml/68名
採血量/30,600ml



苫小牧中央LC

タオルボランティア・・・12月3日(水)



労力アクティビティ
10分×570枚=95時間
金額アクティビティ
100円×570枚=57,000円
12月3日(水)贈呈式実施
4L×1h=4h

労力ACT合計 99時間 金額ACT合計 57,000円

歳末助け合い募金に協力・・・12月17日(水)
12,342円

早 来 L C

ライオンズ大賞贈呈・・・12月7日(日)



早来LC結成43周年記念式に於いて、北進スコップバンド様をライオンズ大賞として表彰し、賞状と記念品を贈呈しました。

薬物乱用防止教室開催・・・12月10日(水)



安平町立追分中学校に於いて、3年生を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。DVD鑑賞後、苫小牧警察署早来駐在所・梅森警部補に講話を依頼し、実際にあった事件等を判り易くお話して頂きました。

広島市災害義捐金拠出・・・12月15日(月)

キャビネットへ広島市災害義捐金送金
金銭ACT 12,000円

安平町遠浅地区竜巻災害見舞拠出・・・12月17日(水)

11月12日 安平町遠浅地区で竜巻のより多数の被害が発生したためクラブより遠浅自治会へ見舞金を贈りました。
金銭ACT 50,000円

タオルボランティア・・・12月17日(水)



町内・社会福祉法人追分あけぼの会 特別養護老人ホーム追分陽光苑へフェイスタオルを300枚寄贈
労力ACT 50H
金銭ACT 30,000円

歳末たすけあい募金寄贈・・・12月17日(水)



安平町共同募金委員会へ歳末たすけあい募金を寄贈
金銭ACT 20,000円

献血協力呼び掛け・・・・・・・・12月18日(木)



安平町役場前に於いて献血協力呼び掛けを実施
協力者にベビーチーズと100%ジュースを進呈

金銭ACT 8,560円
労力ACT 3H

厚 真 L C

「歳末チャリティ」及び「歳末助け合い運動募金」協力・・・・・・・・12月1日(月)

歳末チャリティ演芸大会及びチャリティ募金協力
労力ACT～1L×3H=3H
金銭ACT～6,000円(募金)
歳末助け合い運動募金協力
金銭ACT～30,000円(募金)

薬物乱用防止PR・・・・・・・・12月4日(木)



上厚真地区の時計塔に薬物乱用防止の看板を設置

金銭ACT～14,040円

薬物乱用防止教室・・・・・・・・12月9日(火)



厚真中央小学校6年生28名を対象に、薬物乱用防止教室を実施

労力ACT～3L×1H=3H
金銭ACT～3,000円(テキスト代)

平成26年度交通安全・防犯町民集会参加協力・・・12月18日(木)



交通安全・防犯町民集会に参加協力

労力ACT～11L×2H=22H



アクティビティの記録

独居老人歳末慰問・・・・・・12月20日(土)



町内在住80歳以上の独居老人71名を慰問。
餅やそばなどの慰問品にメッセージカードを添えて手渡しました。
労力ACT～19L×2H=38H
金銭ACT～127,800円(慰問品代)

苦小牧白鳥LC

歳末助け合い募金・・・・・・12月3日(水)



第1例会にて歳末助け合い募金を募りました。
金銭ACT 21,005円

広島市災害義捐金送金・・・・12月10日(水)

金銭ACT @500×63名 31,500円

餅つきアクト・・・・・・12月10日(水)



9時～12時まで
12月第2例会並びにクリスマスパーティーでオークションに掛ける餅つきをしました。
オークションで得た益金は、寄付します。

労力ACT 18時間 (6人×3H)
金銭ACT 16,804円 (場所代・雑費)

12月第2例会及びクリスマスパーティー開催・・12月10日(水)

オークションを実施しました。

タオルボランティア・・・・・・12月11日(木)



社会福祉法人 緑陽会にタオル寄贈。

タオル枚数 460枚
労力ACT 77時間
金銭ACT 46,000円
参加L 5名
労力ACT 5時間

社会福祉協議会に寄付・・・・12月25日(木)



クリスマスパーティー益金を、社会福祉協議会に寄付しました。
金銭ACT金 60,000円
労力ACT 2×1H 2時間

第 1 R

函館北斗LC 家族会員

L佐藤 満 恵

1944年3月29日生

入会/2014年12月3日
スポンサー/L 佐藤勝也



木古内・知内LC支部若獅子会

L工 藤 聖

1984年12月17日生
ツグミ総合保険 営業主任
入会/2015年1月7日
スポンサー/L 鈴木慎也

第 2 R



小樽LC
L高橋 康 博

1955年6月29日生
札幌トヨタ自動車(株)小樽支店 支店長
入会/2015年1月21日
スポンサー/L 小番祐二



小樽LC
L山田 昇

1958年3月5日生
(株)ニュー三幸 代表取締役
入会/2015年1月6日
スポンサー/L 小番祐二

岩内LC 家族会員

L若林 京 子

1956年6月20日生
(株)英P&M 薬剤師
入会/2015年1月1日
スポンサー/L 若林英昭

岩内LC 家族会員

L笠島 恵 子

1947年1月21日生

入会/2015年1月1日
スポンサー/L 笠島朗

岩内LC 家族会員

L小林 恵 子

1956年5月17日生
(有)マルヤマパック 取締役
入会/2015年1月1日
スポンサー/L 小林正広

岩内LC 家族会員

L橋本 君 美子

1950年7月11日生
(有)はしもと 取締役
入会/2015年1月1日
スポンサー/L 橋本英一

岩内LC 家族会員

L山内 奈 保子

1958年10月5日生

入会/2015年1月1日
スポンサー/L 山内千寿

岩内LC 家族会員

L中村 範 子

1965年12月12日生

入会/2015年1月1日
スポンサー/L 中村直喜

岩内LC 家族会員

L北友 美 恵子

1948年5月10日生

入会/2015年1月1日
スポンサー/L 北友卓也

岩内LC 家族会員

L小島 由 美子

1967年2月9日生

入会/2015年1月1日
スポンサー/L 小島裕治

岩内LC

L酢谷 昭 雄

1942年8月23日生
酢谷商事(株) 代表取締役
入会/2015年1月1日
スポンサー/L 北山重弘



新入会員・家族会員のご紹介

倶知安LC 家族会員

L山下悦子

1952年5月23日生

入会/2015年1月8日
スポンサー/L山下正

倶知安LC 家族会員

L小林直美

1968年1月17日生

入会/2015年1月22日
スポンサー/L小林正樹

倶知安LC 家族会員

L南河由紀子

1949年4月18日生

入会/2015年1月8日
スポンサー/L南河健一

倶知安LC 家族会員

L大代喜美江

1969年1月21日生

入会/2015年1月22日
スポンサー/L大代貴輝

倶知安LC 家族会員

L本間珠美

1960年3月10日生

入会/2015年1月8日
スポンサー/L本間英夫

倶知安LC 家族会員

L梅田春子

1950年4月16日生

入会/2015年1月22日
スポンサー/L梅田八州男

倶知安LC 家族会員

L吉田悦子

1944年1月7日生

入会/2015年1月8日
スポンサー/L吉田巖

倶知安LC 家族会員

L水口多恵子

1943年7月20日生

入会/2015年1月22日
スポンサー/L水口汪

倶知安LC 家族会員

L越水美穂

1965年10月9日生

入会/2015年1月22日
スポンサー/L越水一賀

倶知安LC 家族会員

L坂口敏和

1956年6月10日生

入会/2015年1月22日
スポンサー/L坂口亜子

倶知安LC 家族会員

L加藤美代子

1950年11月22日生

入会/2015年1月22日
スポンサー/L加藤直己

倶知安LC 家族会員

L池田加奈子

1947年1月14日生

入会/2015年1月22日
スポンサー/L池田日出夫

倶知安LC 家族会員

L萩野ふみ子

1948年10月31日生

入会/2015年1月22日
スポンサー/L萩野弘

倶知安LC 家族会員

L松井清美

1941年8月1日生

入会/2015年1月22日
スポンサー/L松井進

倶知安LC 家族会員
L佐藤 裕子

1954年10月12日生

入会/2015年1月22日
 スポンサー/L 佐藤裕



ニセコLC 家族会員
L河合 瑠美子

1938年6月4日生

入会/2014年12月1日
 スポンサー/L 河合秀雄

倶知安LC 家族会員
L神崎 宮子

1959年4月13日生

入会/2015年1月22日
 スポンサー/L 神崎健治



ニセコLC 家族会員
L樫原 例子

1933年10月29日生

入会/2014年12月1日
 スポンサー/L 樫原和雄

倶知安LC 家族会員
L伊深 直美

1972年6月8日生

入会/2015年1月22日
 スポンサー/L 伊深勝弘



ニセコLC 家族会員
L奈良 トキ

1931年2月8日生

入会/2014年12月1日
 スポンサー/L 奈良清太郎

倶知安LC 家族会員
L秋田谷真由美

1957年1月18日生

入会/2015年1月22日
 スポンサー/L 秋田谷守

小樽うしおLC 家族会員
L木村 富士子

1957年9月7日生

入会/2015年1月13日
 スポンサー/L 木村嘉広

倶知安LC 家族会員
L櫻田 晴代

1965年5月12日生

入会/2015年1月22日
 スポンサー/L 櫻田一幸

第 3 R



登別LC
L千葉 信子

1959年6月28日生

(株)登別グランドホテル 支配人
 入会/2014年12月1日
 スポンサー/L 安中恵美子

倶知安LC 家族会員
L中井 里美

1979年7月21日生

入会/2015年1月22日
 スポンサー/L 中井啓晴



伊達LC
L廣瀬 基之

1962年11月9日生

MAM合同会社 代表社員
 入会/2014年12月11日
 スポンサー/L 三浦克朗

倶知安LC 家族会員
L竹山 今世子

1951年3月6日生

入会/2015年1月23日
 スポンサー/L 竹山敏雄



伊達LC
L河島 修

1970年8月3日生

北紘建設(株) 執行役員土木部長
 入会/2015年1月8日
 スポンサー/L 片岡雄也



新入会員・家族会員のご紹介

第 4 R



森LC
L角田博光

1969年11月16日生
仕事人マルミツ商店
入会/2014年12月1日
スポンサー/L 木村俊広



苫小牧LC
L元野徹哉

1954年7月20日生
創建工業(株) 専務取締役
入会/2015年1月15日
スポンサー/L 窪田信雄



森LC
L長岡 仁

1970年10月30日生
有長岡林産
入会/2014年12月1日
スポンサー/L 木村俊広



静内LC
L岡本 晃

1967年6月29日生
株岡本組 代表取締役
入会/2015年1月22日
スポンサー/L 石井諭



砂原LC
L川村光夫

1954年5月7日生
森町役場 砂原支所長
入会/2015年1月1日
スポンサー/L 大須賀元美



早来LC
L渡辺隆広

1970年3月16日生
渡辺商事(株) 追分ホテルわたなべ 代表取締役
入会/2014年12月1日
スポンサー/L 小林正道

第 5 R



苫小牧LC
L阿久津秀一

1955年3月31日生
阿久津農林 代表
入会/2014年12月4日
スポンサー/L 大槻泰夫



早来LC
L菊地 勲

1942年3月22日生
菊地左官工業所 代表
入会/2014年12月1日
スポンサー/L 三倉盛一



苫小牧LC
L窪田信雄

1945年6月29日生
北海道リサイクルセンター(株) 専務取締役
入会/2014年12月4日
スポンサー/L 小野操一

★お陰様で1月末新入会し200名達成!

==== 念願の2,000名迄残り93名 ====

	期首	前月末	入会		退会		今月末	比較	
			当月	累計	当月	累計		当月	期首
クラブ数	52	52	0	0	0	0	52	0	0
会員数	1,792	1,879	41	200	13	85	1,907	115	28

ありし日を偲び 謹んでご冥福をお祈りいたします



故L 荒木 徳三郎
小樽中央LC
平成27年1月23日ご逝去
(享年79歳)

- 1979年2月 小樽中央ライオンズクラブ入会
- 1985年 第26代クラブ幹事
- 1987年 331-C地区 CAB委員
- 1989年 第30代クラブ会計
- 1997年 第38代クラブ会計
- 2001年 331-C地区 環境保全委員長



故L 藤原 正幸
厚真LC
平成27年1月26日ご逝去
(享年83歳)

- 1984年5月 厚真ライオンズクラブ入会
- 1987年～1988年 幹事
- 1990年～1991年 第三副会長
- 1991年～1992年 第二副会長
- 1992年～1993年 第一副会長
- 2005年～2006年 第三副会長
- 2006年～2007年 第二副会長
- 2007年～2008年 第一副会長
- 2008年～2009年 会長
- 2009年～2010年 PR委員長
- 2011年～2012年 第5リジョン・RC
- 2013年～2015年 交流委員長

編集
後記

新しい年が明けて、早いもので1ヶ月半が過ぎました。今年の冬は、道北、道東に比べ、道南地区は例年に比べ比較的雪が少なく、穏やかな日々が続いています。今期エコー誌の目玉である各クラブ役員、会員による寄稿文が大変、好評をいただいております。あと3回の発刊がありますので我こそはと思われる方は遠慮なく寄稿文をお寄せ下さい。又、1月末現在、新入会員200名を突破しました。このまま順調に推移し、今期末まで会員数2,000名の大台にのればいいなあと思いを馳せる今日この頃です。あと4ヶ月、皆様には引き続きご協力の程、よろしく願い致します。

エコー誌、寄稿締切日一覧表

エコー誌発行NO.	寄稿締切日(キャビネット着)	備考
Vol.5	2015/ 3 /25	
Vol.6	2015/ 5 /25	
Vol.7	2015/ 6 /20	特集号

※ 現在の予定です、変更が出た場合はご連絡いたします。



開陽丸は、幕末期に江戸幕府が所有していたオランダ製軍艦で、1866年（慶応2年）に造艦され、翌年3月25日にオランダに留学中の榎本武揚らが同乗して横浜に回航しました。当時としては、最新鋭で世界的にも有力艦といわれ、外国勢力に対する抑止力となることが期待されましたが、徳川軍艦としてわずか1年数ヶ月、1868年（明治元年）11月15日、江差沖において暴風雨に遭い、座礁し沈没しました。

1975年（昭和50年）、江差町教育委員会によって世界初となる水中・産業考古学の対象として発掘・調査プロジェクトが発足し、大砲やシャフト等の遺構から古文書など3万点以上の遺留品の引揚げが行われました。1990年（平成2年）4月、江差町に資料館として開陽丸が復元されています。

表紙写真、瓶子岩（へいしいわ）の由来は、今から500年もの昔、さまざまな予言をする姥がいました。ある時、姥はかもめ島で翁から小さな瓶を渡され、教えられた通りに海に投げたところ、江差にニシンが群来ようになったといわれています。この瓶が石と化して海上に現れ、瓶子岩となったと伝えられています。毎年7月の第一土日に開催される「かもめ島まつり」では、その瓶子岩に海上の安全や大漁を祈願して、全長30mにおよぶ縄が掛け替えられます。



THE LIONS

ECHO エコー

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
函館キャビネット事務局
〒041-0851 北海道函館市本通2丁目16番7号 2F
TEL (0138) 52-0188 FAX (0138) 52-0288
E-mail : cab331c@wave.plala.or.jp